

# 2020年日野町民ミュージカル発表会

# 「未来」

長きにわたって愛されてきた日野町民ミュージカル。今年はダンスや歌などの規模を縮小して、11月23日、町文化センターで開催されました。

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、例年通りの舞台は中止となりましたが、18年続いた歴史を止めることなく来年度につなげるため、また、いつも応援してくださっている皆さんにご覧いただけるよう、チャンネルひので放送するために収録を行いました。観客は出演者の家族や来賓のみと小規模でしたが、「コロナウイルスに負けない」「地域を元気づける」という思いを込め、約20分間の舞台を上演。出演者の熱演に、客席からは大きな拍手が送られていました。

今回の収録の様子は、後日チャンネルひので放送予定です。

光の剣をかざして…

しいたんも熱演!



みんな笑顔で、来年こそは大勢の前で演じたいね!

コロナウイルスを撃退!

元気になる歌とダンスをお届け



みんなで打ち勝とう  
コロナウイルスに負けるな!



幻想的な雲海がいつまでも見られるように

明地峠展望台で雲海祈願祭



明地峠雲海を安全に見られるように願って

11月8日、明地峠展望台付近で、雲海祈願祭が行われました。

これは、明地峠に雲海が安定して発生し、見学できることを祈る「雲海発生祈願」、雲海撮影スポットの安全や、交通安全を祈る「安全祈願」、新型コロナウイルスが収束するように祈る「新型コロナウイルス収束祈願」の思いを込め、真住公民館長の山川茂樹さんが中心となって計画されたものです。

当日は、真住地区の皆さんなど約20人が参加。高國神社の佐々木宮司による神事が行われ、雲海の美しい光景がこれからも安全に見られるよう祈願されました。

大人も子どもも楽しんだ芸術の時間

燕屋公演 人形芝居「ねずみのすもう」



一人で人形を操りコミカルに演じる

11月7日、「親子でアートを楽しむ会おひさま」主催で、燕屋による人形芝居が、山村開発センターで上演されました。

当日は、60人の親子が参加。日本の民話「ねずみのすもう」をアレンジして上演されました。燕屋の公演は、舞台を肩にかけて演じるという珍しいもの。一人で演じるための創意工夫がなされた演出に、参加者からは「巧みな話術に引き込まれた」「笑いに笑った1時間。子どもたちもとても楽しそうだった」といった感想が聞かれ、魅力的な舞台に大満足な様子でした。

まちに活気を。まちににぎわいを。

黒坂のまちなかで「1日だけのお店屋さん」が開店



オープンスペースでゆったりと



▲大好評の手作りパンは追加分もあっという間に完売

▲ポン菓子のほかにも綿菓子などを販売

11月21日、黒坂のまちなかで「1日だけのお店屋さん」(黒坂フェスタの会主催)が開店しました。

当日は、手づくりパンの販売でエミーズカフェ(江府町)が、ポン菓子の加工・販売などでルートマンテン(大山町)が出店。また、まなびや緑側の生徒とJK課OGによるカフェも併設され、温かいコーヒーが販売されていました。店の外では、ポン菓子を加工する機械の見学も。大きな音に驚きながらも、楽しむ様子が見られました。

同イベントは、来年度以降も定期的開催予定です。